問4(オ)

――線②に関して，このころから日本の企業は，生産方法を変化していった。次の表Ⅱと表Ⅲを使って，その変化の過程を，海外生産の進出先の地域に着目して，80字以内で書きなさい。解答にあたっては，表Ⅱをもとに地域別の海外生産の変化を読み取ったうえで，貿易摩擦という語句を必ず用いて書き，表Ⅲからはこのような過程を経た理由を，人件費という語句を必ず用いて書きなさい。なお，文末は句点(。)で終わり，全体の字数に入れること。

貿易摩擦…アメリカやヨーロッパ諸国では日本の製品ばかり売れて，自国の製品が自国や日本で売れなく，その不平等な状態。

貿易摩擦の解消…日本の製品をアメリカやヨーロッパ諸国でつくり，海外の人を雇って収入を得てもらい貿易摩擦を解消する。

欧米諸国

表Ⅱ 国内自動車会社の地域別海外生産(単位 千台)

年	アジア	ヨーロッパ	北アメリカ
1985年	209	45	297
1990年	952	227	1,570
1995年	1,883	642	2,595
2000年	1,674	953	2,992
2005年	3,964	1,545	4,081
2010年	7,127	1,356	3,390
2012年	8,503	1,484	4,254

(『日本国勢図会 2014/15』ほかにより作成)

表Ⅲ おもな国(地域)の製造業の全雇用者一人あたりの労働コスト

国(地域)	日本＝100とした場合(2011年)
韓国	53.0
シンガポール	63.3
台湾	26.2
フィリピン	5.6
中国	4.9
インド	4.9
イギリス	86.2
ドイツ	132.7
アメリカ	99.5

アジア諸国

(『世界国勢図会 2013/14』により作成)

(例)

当初は貿易摩擦を避けるため，欧米諸国での海外生産を増やし，その後は日本より人件費が安く，生産にかかる費用が抑えられることから，アジア諸国での海外生産を増やした。(80字)